事業所名　風の子デイサービス

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日　2025 年　3 月　21 日

法人（事業所）理念	・①本人主体、②家族支援、③ライフサイクル支援の3点を基本に、子どもの主体性を尊重した支援を大切にします。 ・事業所と家庭が協力する関係を築き、子どもにとって、安心できる環境や関わりのあり方を保護者と共に考えます。			
支援方針	・「風の子児童館子どもの家」の子どもたちと一緒に活動する機会をもちます。 ・大人との基本的信頼関係を基盤として、他の子どもの様子や活動に関心をもち、本人の興味の幅が広がるように支援します。			
営業時間	9 時　0 分から　17 時　45 分まで		送迎実施の有無	（あり）　なし
	支　援　内　容			
本人支援 健康・生活	・基本的生活習慣について、保護者から聞き取り、健康、生活面の様子を家族と共有する。 ・必要に応じて、医療機関と連携する。			
本人支援 運動・感覚	・同法人の園庭で鬼ごっこ、ドッジボールを楽しみながら、身体を動かす。 ・工作、手芸など、もの作りを通して、一から作り出す楽しさを味わう。 ・自然体験（花や野菜の栽培、自然学校）			
本人支援 認知・行動	・料理やおやつ作りなど、日常生活に役立つ力を身にける活動。宿題の時間を決め、職員と取り組む。 ・季節ならではの行事を楽しみ、由来や意味を知る、小学生新聞の活用など、周りに対する好奇心や学習意欲を育む。 ・他の人からの誘いかけやはたらきかけを喜ぶ、やりとりを楽しむ経験を積む。周囲の様子に合わせる、納得して行動することができる。			
本人支援 言語コミュニケーション	・子どもの感情、要求、興味に注意、関心を払い、微妙な表情に丁寧に応答する。 ・自分の思いや経験を上手に表現できるように、本人の話や訴えに耳を傾ける。 ・気持ちや意思を細やかに伝えられるよう、丁寧なやりとりを積み重ねる。			
本人支援 人間関係社会性	・困った時の不快、不安、不満を大人に伝える。特定の大人を頼る、手助けを求める。 ・自信がない、苦手なところは気持ちよく援助する。支援者が一緒にいると、他の人とも簡単なやりとりをする。 ・相手に対して、自己主張をする。場合によっては状況を理解、判断して相手に合わせる。譲る、相手を思いやることができるようになる。 ・困りごとや悩みの相談にのる。一緒に問題を解決する経験を積む。			
家族支援	・グループ相談や個別相談で本人や家族、きょうだいについての相談にのる。 ・個別相談では保護者の不安や心配に耳を傾ける。保護者が子どもの理解を深め、余裕をもった子育てができるように支える。 ・グループ相談では個々の経験を出し合う。他の人の有効な経験を活用する。経験を蓄積するなど、保護者のつながりを作る。 ・家族が子どもの成長を支える理解と支援の視点を共有する。 ・冊子『視点』を使っての勉強会を行う。	移行支援	・就学や就労への悩みを聞く。 ・保護者の了解の基、学校や就労先と会議をもち、情報提供をする。	
地域支援・地域連携	・子どもが心身共に大きく成長する学齢期、日中の大半を学校で過ごす。学齢期をどのように過ごすかは、将来の生活のあり方を左右する。 ・学齢期の諸問題について、子どもの意見を聞きながら、学校や保護者で子どものことを共に考える。 ・関係機関と支援会議等をもち、情報や支援課題の共有に努め、連携する。（学校、区役所、相談支援事業所、他事業所、医療）	職員の質の向上	・社会福祉、対人援助、発達など、支援の実践に役立つように積極的に学び、専門性を養うことを目指す。 ・自然に親しみ、感性を磨き、人格を陶冶する。 ・職員相互の信頼関係のもと、互いに研鑽し合い、支援の向上を図る。	
主な行事等	・親子ふれあい会　・比良キャンプ(湖水浴)　・秋祭り　・おもちつき　・おでかけイベント(デイ長期休暇)			